

令和2年5月25日

こころのリハビリ総合支援センターにおける新型コロナウイルス感染症対策

1. スタッフおよび通所メンバーに対し検温を毎日実施し、37.5度を越える発熱があった場合には帰宅を促す。また、発熱がない場合にも手洗いの励行・手指のアルコール消毒を呼びかける。
2. 外来患者および相談者に対しては発熱の有無を口頭にて確認するとともに、手洗いの励行・手指のアルコール消毒を呼びかける
3. プログラム開始前や休憩時に手洗いの励行を呼びかける。また、屋内の換気を定期的
に実施する。
4. 当面の間、外出プログラムを自粛する
5. 料理プログラムの際には手洗いの励行に加え、マスク着用を義務付ける
(極力、自身で用意するよう呼びかける)
6. 料理プログラムでは生野菜など加熱処理しないものは提供しない
7. 接触感染を防ぐため、ドアノブ等を消毒する
8. 咳エチケットを指導する
9. 発熱や咳等体調に不安がある際には通所を控えるよう指導する